北秋田市民病院 (仮称 \bigcirc 建設事業につ て

北秋田市民病院基本設計

今後、

内容についてお知らせします。 病院建設について市民の皆様にご理解頂くため「基本設計」建築工事へと進むことになります。 現在は、基本設計に基づいて実施設計に取り組んでおり、今 の

族にとって快適な病棟 ・患者とその付き添いをする家病棟計画の基本方針 患者とその付き添

にとって見守りやす 院内感染防止やセキュリテとって見守りやすい病棟 動線がコンパクト -なスタッ

病棟部門の特徴 に配慮した安全で安心な病棟 1

の個室への改修が行いやすい病しやすい、ユニット化、4床室・将来の病棟運営の変化に対応 を重視した病棟とします。 特殊病床ゾー 特殊病床ゾーンの見守りやすさ・スタッフの連携と重症エリア、

す。 ンから見守りやすい配置としま ルに近く、 1床室群をエレベー スタッ · フステー レベー ター シホー

応した、連携のとりやすい配置られたスタッフでの運営にも対は、お互いに近接しており、限・2つのスタッフステーション Ιţ

> 病室計画 可能とします。

棟とします

工 北秋田の気候や風土に適応上 大快適な療養環境の提供した快適な療養環境の提供大病室の形状と配置大病室の形状と配置大病室の形状と配置

デイコーナーを分い南側に配置し、 供します。 や家族にも快適な療養環境を提

だけでなく、

廊下や洗面や

1

レにも採光が可能です。

-は廊下

剫

看護動線も短縮できます。

光ダクトの採用により、

病室

の病室を配置することができ、

フ

病室計画の基本理念

病室の特徴

ることにより、 南面により多く奥行きを長くす

としています。 4床室群を日当りと眺望の良 - を分散させ、患者直し、病棟の各所に

等の収納スペースとしても活用ントリー、下膳室、自動販売機・病棟デイルームの配膳室はパ

・間口を短く、

2

ラー

保でき、 より家族がくつろいだり、添い 保でき、ファミリーコーともにほぼ均等なスペー ファミリー スが確認の

に

寝したりすることができます。

望むことができます。 に眺望がひらけ、 2眺望がひらけ、遠く森吉山を円弧状に連なる4床室は湖畔 病棟計画の基本方針

を設置します。 くつろげるファミリー 各ベッドの脇には患者家族が 内装は白系を基調に、

どの温かみのあるアクセント 廊下側に光ダクトを設け、 を想定します。 木調な 病 力

室内や洗面トイ レに採光します

病室イメージ

ベット廻りのイメージ



3階 病棟平面図



うにします。 適に長時間付き添いができるよ とのできるスペー ベッド脇に椅子などを置くこ スを設け、

快

・ベッド周りは、一(医療コンソー

病室らしさをソールパネル)

ます。

極力感じさせない

しつらえとし

7

・洗面所

ッ

置します。 やす 者の小物を収 ・洗面所には、 光ダク-小物を収納できる小棚を設い薄型の洗面器を設け、患 車椅子で利用

立ちにくい

立ちにくい縦型ユニットを想定ッドに横たわる患者の目線に目・医療コンソールパネルは、ベ

眺望の良い病室とファミリーコーナーのイメージ

双方のスタッフステーションが 近接し、連携をとりやすい配置

・南側の日当たりの良いゾーンに 4床室を配置

処置室 汚物 WC W

面談 準備室

- パントリー、下膳、自販機コーナーと して利用可能

明かりを供給する光ダクトを採その反射を利用し各所に自然の・屋根面から自然光を採り入れ 心ます。

補助となる自然光の採り入れが・トイレや洗面、廊下に照明の

可能です。

MR

間達 DS 器材室

1床_

面談

明を設置します。 を出すのに便利なブラケット照・読書や、ベッド廻りの雰囲気

7 広報きたあきた 19.3.1